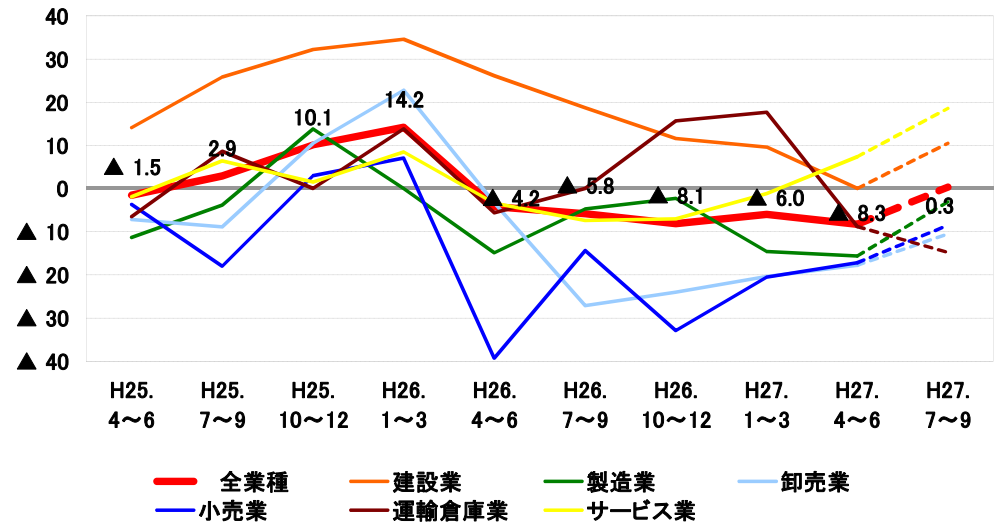


調査対象：福岡商工会議所の会員企業1,500社を任意抽出 期間：平成27年6月8日～6月25日 回答数：408 回答率：27.2%

業況D I は2期ぶり悪化で、一進一退。先行きは、再び改善見込み。

- 平成27年4～6月の自社業況D I（全業種）は▲8.3（前期比▲2.3ポイント）と2期ぶりの悪化。
- 業種別で見ると、サービス業（前期▲1.2→今期7.4）、小売業（▲20.5→▲17.2）、卸売業（▲20.4→▲17.8）で改善。特に、好調なインバウンドを背景にした持ち直しの動きが見られる。流通関係で改善が見られるが、比較対象の前年同月は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減により業況が落ち込んだ時期であることに留意が必要。一方、運輸・倉庫業（17.7→▲8.8）、建設業（9.6→0）、製造業（▲14.6→▲15.6）で悪化。建設業は5期連続の悪化で、プラス値でないのは平成24年7～9月以来、11期ぶり。
- 項目別では、受注・販売価格や生産・売上額で改善が見られるものの、営業利益は悪化となっており、円安に伴う一段のコスト増や価格転嫁の遅れが業況改善の足かせとなっていることが伺える。
- 次期（平成27年7～9月）は0.3（今期比+8.6ポイント）と改善の見通し。

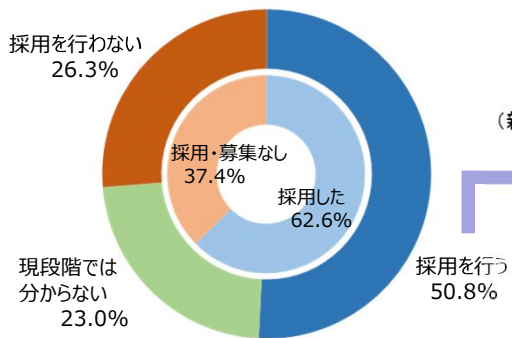
【自社業況の景況判断推移（業種別）】



平成27年度採用動向について

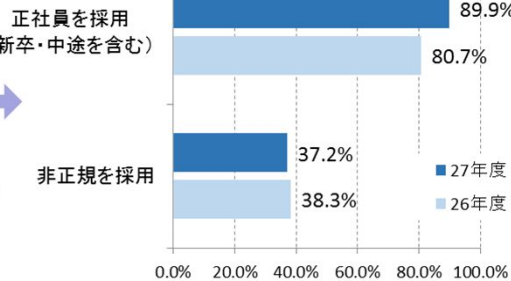
- 平成27年度採用動向について、「採用を行う」は50.8%、「現段階では分からない」が23.0%、「採用を行わない」が26.3%。採用を行う企業のうち、「正社員を採用」する企業は89.9%で、26年度に採用した企業の内訳（80.7%）よりも高くなっている。
- 正社員の採用数について、26年度と比較して「増やす」企業が51.2%、「昨年度並み」が42.0%、「減らす」が6.8%。

円グラフの内側は26年度実績、外側が27年度動向

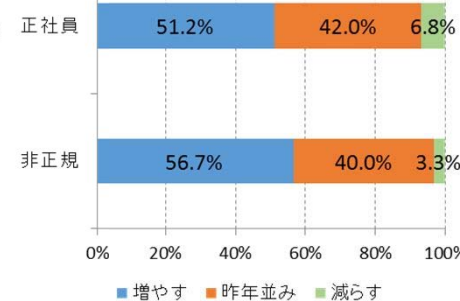


〈採用の内訳〉

※27年度は「採用を行う」企業、26年度は「採用した」企業が回答（複数回答）



〈正社員・非正規社員の採用動向〉



28年度新卒大学生を対象とする採用ルールの変更の影響

